

第28期 株主通信

平成17年6月1日から平成18年5月31日まで 証券コード：7421



KAPPA BUSINESS

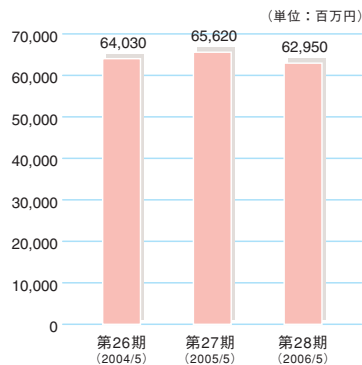
カッパ・クリエイト 株式会社

きどらぬ普段がある。 いつもと変わらぬ箸との生活がある。

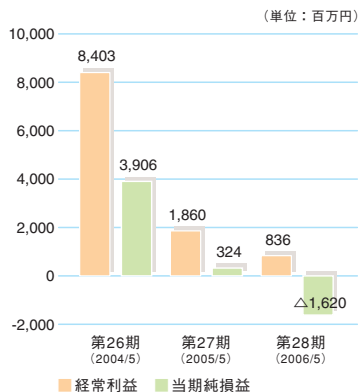


家族でテーブルを囲みながら、次から次へと回ってくるバラエティ豊かなお寿司を前に「次は何を食べようかな」と、目を輝かせる楽しいひととき。それは、日本全国にカジュアルなお寿司の文化を広めてきた「カッパ・クリエイト」の願いそのものです。「かっぱ寿司」のお寿司は、全て一皿100円（税込105円）。食べたいものを好きなだけ食べられる回転寿司の魅力を存分に堪能してもらえるよう、低価格で高品質な商品を厳選しています。ロープライスとアメニティの両立が、豊かな食のおいしさと喜びをお約束します。

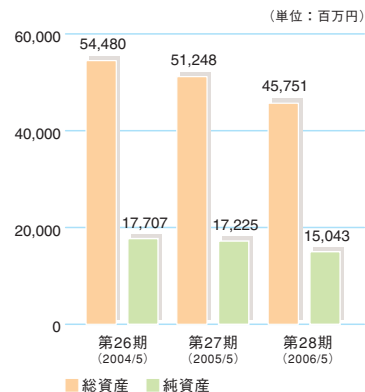
■ 売上高の推移



■ 経常利益・当期純損益の推移



■ 総資産・純資産の推移



株主の皆様へ



代表取締役社長
山下 昌三

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループ第28期（平成17年6月1日から平成18年5月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

わが国の外食産業をみますと、国内景気は順調な回復をみせているものの、外食産業全体としては長期的な市場規模の縮小傾向は続いており、企業間競争の激化による店舗数の増加ともあいまって、既存店の売上高は厳しい状況で推移しております。

当社グループにおきましては、競争の時代を乗り切るために、年間を通したキャンペーン実施や定番商品の組み替えなど、主力であるかっぱ寿司店舗の魅力向上のための積極的な施策をとってまいりました。また、人材教育の不足によるサービス低下の反省を生かし、昨夏より従業員力のアップを目指した社員教育を徹底。教育店舗を活用した取り組みにより、お客様単価回復などの手応えを得ることができました。その他、うどん事業の株式会社家族亭への事業譲渡、中食・惣菜の販路拡大を目指した株式会社エーエム・ピーエム・近鉄のグループ化など、将来的な成長のための戦略的な判断を行ってまいりました。以上のような努力を行いましたが、当連結会計年度の業績は、売上高629億50百万円（前連結会計年度比4.1%減）、経常利益8億36百万円（同55.0%減）、減損損失の計上により当期純損失16億20百万円（前連結会計年度は当期純利益3億24百万円）という結果になりました。

今後につきましては、外食産業の縮小傾向や原油価格高騰など、依然厳しい状況は続くものと思われませんが、寿司事業については、社員教育の第二段階として、ホールサイドの作業標準化や接客技術の向上を最重点課題とする予定であります。また、新規出店予定の店舗を中心にタッチパネルや新幹線レーンの導入など魅力ある店舗づくりを行い、集客力・収益力の向上を目指していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年8月

カップ・クリエイトグループは 新体制のもとで 効率的な企業経営を行います。

高品質・低価格な食文化で社会に貢献

昭和48年8月に創業した「かっぱ寿司」は、昭和54年から回転寿司のチェーン展開を開始いたしました。その後、平成11年4月以降は大型店の出店を展開。現在では北海道、四国、九州を除く1都2府21県に店舗を持つナショナルチェーンとなりました。

平成8年に手打ちうどん「得得」を子会社化したのをきっかけに、昨年までは「寿司（かっぱ寿司）」「うどん（得得）」「惣菜（かっぱ厨房）」の3業態での運営を行ってきましたが、関連会社である「家族亭」とのうどん業態における業務重複を避けて企業グループ全体としての効率化を図るため、平成18年5月をもって、うどん事業は家族亭に営業権譲渡いたしました。また惣菜事業については、1店舗を残しすべて閉鎖に踏み切り、平成18年5月、株式会社エーエム・ピーエム・近鉄との資本提携を実施。関西地区におけるコンビニエンス・ストア事業に進出します。

過剰設備を削減し、本業重視を推進するとともに、新戦略ビジネスにも積極的に乗り出したカップ・クリエイト。このような新体制のもと、カップ・クリエイトは、今後も高品質な商品・サービスを低価格で提供することをモットーに、食を通じて社会に貢献してまいります。

かっぱ瓦版



ファミリー対応の大型店を推進 従来型店の閉鎖により収益力強化

カップ・クリエイトでは時代の変化・市場動向をいち早くキャッチし、座席数120席以上の大型店を積極的に導入しています。その一方で、従来型小型店の不採算店・非効率店の閉鎖にも着手。過剰施設を見極め、販売施策や店舗施策等を推し進めることにより、収益力の強化を図っています。今期の新規出店はおよそ20店舗、閉店についても15~20店舗を予定しています。

大型店は、家族連れにうれしいファミリーレストラン感覚で利用できるテーブル席が主体となっています。ご高齢のお客様のニーズに応えるバリアフリー仕様に徹した店舗とし、混雑する休日やお昼時の空席待ちを回避するなど、ゆっくりとお食事が楽しめる雰囲気作りを心がけています。

「お客様第一主義」を経営理念に 更なる「人材教育」に注力

「全国どこのかっぱ寿司でも、低価格で安心のサービスを受けられる」。お客様にそう思っていただけ

よう、かっぱ寿司では人材教育に力を入れています。教育部を新設し、緻密な教育プログラムのもと、「お客様第一」をモットーに、従業員が一丸となって、サービス向上のための標準的なマニュアル作りを進めています。



集合研修としては、地区マネージャー研修や店長研修、主任研修、新入社員研修などを実施。また、全国から選抜された教育担当社員により、5箇所の「教育店舗」で実際のオペレーションをしながらの研修も行っています。

昨年は「新鮮な寿司を迅速かつ正確に回す」ため、キッチンの標準化を重点的に実施。その結果、お客様単価が前年比106%にアップし、その後、お客様単価については安定させることができました。今はベース作りの時期と考え、今期はホールオペレーション・ホール接客レベルの向上に主眼を置いた教育を徹底します。会計、片付け、案内の連携プレーをよくし、店長がホール側から作業指示を出せるための店舗体制を確

「キティカッパ」新登場!! 7月21日から発売開始

かっぱ寿司に、サンリオとの提携によるユニークなキャラクターが新登場しました。その名も「キティカッパ」。ボールペン、ノート、携帯ストラップ、湯のみ茶碗など15アイテムを用意。かっぱ寿司&ハローキティファンは必見!



立し、お客様の満足度とホール回転率のアップを図ります。キッチンとホールの標準化がスムーズに行われるようになれば、おのずとご来店頻度と客席回転率のアップにもつながるはず。来期の業績回復に期待してください。

積極的な設備投資を進め 質の高い“お値打ち感”を追求

全国規模で回転寿司に乗り出した、全店100円均一で知られる「かっぱ寿司」。シャリ機の機械化、セントラルキッチン導入による一括仕入れ・一括加工、各店と本部を結ぶコンピューターネットワークシステムなどのさまざまな企業努力により日本の食文化の変革に努めてきました。

今後も、平成22年までに全国500店舗の出店と、年間売上高1,000億円を中期目標に掲げ、「回転寿司といえばかっぱ寿司」といわれる全国ブランドになるための積極的な戦略、投資を行っていきます。

具体的には、①オール電化の採用により、キッチン内の環境整備と店舗運営コストの抑制を行う②タッチパネルによるスムーズかつ正確な注文を実現する③子どもたちに人気の「新幹線レーン」などを採用するなど。これらは新規出店の20店舗に全て導入予定。既存店についても順次導入していきます。また商品開発においても、情報収集を強化するために商品部スタッフを大幅に増員し、品質の高い安全な食料をより効率よく仕入れていきます。



上…タッチパネルでの注文品の確認
中…寿司ロボット
下…お客様もタッチパネルで楽しく注文ができるようになりました。

～エーエム・ピーエム・近鉄をグループ化～ 新戦略ビジネスとしての 中食・惣菜の販路拡大

**カップ・クリエイトでは
新たな事業展開を見据え、
エーエム・ピーエム・近鉄をグループ化。
コンビニエンス・ストア事業に進出します。**

カップ・クリエイトでは、新たな事業展開を見据えて、惣菜事業「得得」におけるさまざまなテストを随時繰り返し行ってきましたが、今まで取り組んできた経験を生かすために、本年5月24日付けで、株式会社エーエム・ピーエム・近鉄をグループ化しました。

これにより、関西地区における小売業強化の一環として、新たにコンビニエンス・ストア事業に進出し、新戦略ビジネスとしての販路拡大が可能となりました。当社が得意とする惣菜・中食事業のノウハウを投入することで、コンビニエンス・ストア事業の活性化を図ることを目指します。

中食は、コンビニエンス・ストアではなかなか価格が折り合わないのが現状です。当社グループでは、今までにないリーズナブルな価格で展開を図るべく、目下「実験店」の選定を含めて企画を推し進めています。商品はかっぱ厨房での売れ筋を中心に新商品や漬物などを取り揃え、秋口には関西地区のam pmの店頭で登場する予定です。



—うどん事業営業権譲渡— 経営の効率化を図り、「うどん事業」を 関連会社「家族亭」に営業権譲渡

カップ・クリエイトの連結子会社「得得」において展開していたうどん事業は、新商品を導入して既存店の売上高の回復を目指しましたが、売上は低調に推移。また関連会社である「家族亭」との業務提携および資本提携により、2社がうどん事業を展開する状態になっていました。

そこで、グループ内における経営の効率化を図るとともに、うどん事業の一層の強化・拡大を目指すため、平成18年5月31日をもちまして、うどん事業は「家族亭」に事業譲渡しております。

夢のおすし

コンテスト

カップ・クリエイト賞は機関車をモチーフにしたダイナミックで動きのある作品

ブランドイメージを高め、消費者への訴求を図るために、カップ・クリエイトでは季節ごとのさまざまなキャンペーンを展開しています。中でもこの夏注目を浴びたのが、小学生を対象にした「夏休み!!小学生 夢のおすしコンテスト～ぼく・わたしの食べたいおすし作品募集～」。子どもたちが、自分の食べてみたいおすしのアイデアを自由な発想で絵に描いて募集するものです。

「子どもに人気がある店なので、子どもの食べたいお寿司や夢のあるお寿司がどんなものなのかを知りたかった。同時に、かっぱ寿司を小学生に印象づけたかったんです」と山下社長はコメント。応募総数は約8,000点。小学校単位で教師がまとめて応募してきたケースもありました。

作品は「夢」がテーマということもあり、花をイメージしたもの、サッカーに関するもの、お寿司のケーキ…。最も多かったのは、ハンバーガーの形をしたお寿司でした。タレントのパパイヤ鈴木さん、早見優さんを審査員に加え厳正なる審査の結果、見事にカップ・クリエイト賞に輝いたのは、機関車をモチーフとした、ダイナミックで、今にも動き出しそうな躍動感あふれるお寿司でした。カップ・クリエイト賞（1名）には、図書券1万円とかっぱ寿司お食事券5万円を、パパイヤ鈴木賞・早見優賞（各2名）には、かっぱ寿司お食事券1万円が贈呈されました。

カップ・クリエイトでは、今後子どもからお年寄りまで、家族全員が心ときめくキャンペーンを展開しながら、地域社会に愛される店作りを目指してまいります。



カップ・クリエイト賞



日本各地にかっぱの輪が広がっています。

「かっぱ寿司」店舗一覧

東北

青森県

下田イオン店 0178-50-3234

宮城県

名取店 022-383-4132
 泉バイパス店 022-776-6866
 仙台長命ヶ丘店 022-377-1535
 仙台幸町店 022-292-8283
 仙台中野栄店 022-253-5521
 仙台長町店 022-304-5236
 古川店 0229-21-3606
 石巻店 0225-84-1646
 大沼原店 0224-51-4511
 佐河店 0220-21-5821

福島県

原町店 0244-22-6536
 新相馬店 0244-35-6221
 郡山亀田店 024-921-0665
 いわき平店 0246-35-6295
 福島矢野目店 024-559-0538
 福島鎌田店 024-554-4131
 郡山さくら通店 024-995-5955
 いわき鹿島店 0246-76-0676
 会津若松店 0242-37-1278
 郡山南店 024-927-8722
 福島黒岩店 024-544-6831

関東

茨城県

古河店 0280-30-8601
 竜ヶ崎店 0297-60-8160
 水戸見川店 029-257-6931
 土浦店 029-835-8231
 水戸渡里店 029-303-1551
 守谷店 0297-21-1755
 下館店 0296-26-6855
 日立多賀店 0294-25-4177
 ひたちなか店 029-353-3438
 牛久店 029-878-3717
 高萩店 0293-20-5434
 日立田尻店 0294-44-7321
 水戸吉田店 029-304-5834

栃木県

今泉福田屋店 028-623-4400
 宇都宮西川田店 028-615-2631
 宇都宮竹林店 028-600-7867
 小山店 0285-31-5455
 鹿沼店 0289-60-7612
 黒磯店 0287-73-2125
 佐野店 0283-27-2556
 西那須野店 0287-39-7322

群馬県

太田新井店 0276-46-7430
 桐生店 0277-70-6351
 富岡店 0274-70-2788
 二俣店 027-234-9197
 渋川店 0279-25-1126
 高前バイパス店 027-363-9662
 前橋天川店 027-290-2471
 前橋川原店 027-219-4151
 伊勢崎店 0270-50-7611
 太田石原店 0276-47-8223
 藤岡店 0274-50-1275
 館林店 0276-76-8101
 高崎上大類店 027-310-6555

埼玉県

草加店 048-946-7350
 深谷店 048-572-2882
 幸手店 0480-40-5930
 新三橋店 048-624-9123
 川越店 049-226-5340
 蓮田店 048-769-1232
 南中丸店 048-682-2331
 本庄店 0495-27-6610
 岩槻店 048-797-4888
 春日部店 048-738-2177
 鳩ヶ谷店 048-286-5879
 与野店 048-840-0425
 蕨店 048-430-6123
 越谷大里店 048-970-6224
 所沢店 04-2929-6650
 三郷店 048-950-0064
 上尾店 048-780-7933
 北本店 048-590-5631
 久喜店 0480-29-2676
 越谷蒲生店 048-990-5517
 鶴ヶ島店 049-279-5315

熊谷店 048-529-7735
 入間店 04-2931-3451
 大宮榎竹店 048-662-7714
 新座店 048-489-5318
 東松山店 0493-21-4511

千葉県

君津店 0439-52-6222
 茂原店 047-520-4155
 佐倉店 043-462-3837
 袖ヶ浦店 0438-62-6674
 旭店 0479-64-1158
 鎌ヶ谷店 047-498-5731
 東金店 0475-55-4077
 銚子店 0479-25-4608
 館山店 0470-24-4166
 千葉幸町店 043-301-8231
 幕張店 043-213-2861
 市川東大和田店 047-300-8421
 八千代店 047-458-7651
 千葉東寺山店 043-207-9950
 松戸店 047-703-3985
 流山店 04-7141-2281
 松戸五香店 047-704-5231
 市原店 0436-40-4021
 柏店 04-7137-5221
 船橋宮本店 047-460-1911
 四街道店 043-420-4511
 野田横内店 04-7126-1661

東京都

田無アスタ店 0424-60-2120
 三鷹店 0422-76-4082
 練馬店 03-5945-8920
 板橋店 03-5986-9621
 町田根岸店 042-789-7280
 足立環七店 03-5831-1361
 昭島店 042-549-1206
 小平店 0424-51-6331
 練馬真井店 03-5971-2882
 武蔵村山店 042-590-0828
 足立谷在家店 03-5837-1361
 八王子店 0426-96-6488
 根岸宿店 03-5414-6561
 青梅店 0428-30-1036
 江川川一之江店 03-5659-6025
 多摩松木店 0426-70-6020
 福生店 042-539-2361

神奈川県

兼野ジャスコ店 0463-85-2124
 湘南東急店 0466-86-3983
 横浜戸塚店 045-827-2705
 相模大野店 042-742-5581
 川崎市ノ坪店 044-431-0881
 平塚店 0463-25-5037
 戸塚影取店 045-858-5303
 相模原共和店 042-786-7691
 高津久末店 044-753-0291
 大井町店 0465-85-0316
 都岡店 045-958-1855
 横浜笠間店 045-898-3400
 北新横浜店 045-533-3536

山梨県

甲府向町店 055-228-6868

甲府アルパス通店 055-222-3232
 河口湖インター店 0555-20-1125
 南アルパス店 055-280-8501

中部

新潟県

逢谷内店 025-270-7088
 新潟紫竹山店 025-290-2737
 長岡店 0258-31-3288
 新潟坂井店 025-211-0833
 上越店 025-527-3120
 新発田店 0254-32-6288
 三条店 0256-36-7351
 長岡西津店 0258-25-8870
 上越下門前店 025-539-0288
 白根店 025-371-5561

長野県

上高田店 026-225-6038
 更埴店 026-273-8770
 上田店 0268-25-1728
 塩尻店 0263-86-3186
 下諏訪店 0266-26-3777
 南松本店 0263-24-2071
 佐久中込店 0267-63-5773
 中野店 0269-26-1797
 上田国分店 0268-23-6711
 新飯山店 0269-63-1350
 北松本店 0263-47-9832
 豊科店 0263-72-9896
 長野福田店 026-259-1253
 川中島店 026-284-8705
 諏訪インター店 0266-54-2167
 飯田店 0265-56-2367

岐阜県

各務原店 0583-79-2118
 岐阜鏡島店 058-254-8501
 岐南店 058-259-6001
 岐阜又丸店 058-293-0330
 各務原蘇原店 0583-80-0180
 穂積店 058-329-5020
 大垣店 0584-83-0770
 柳津店 058-218-2525
 岐阜鷺山店 058-296-0766

美濃加茂店 0574-23-2050
 多治見店 0572-21-2781

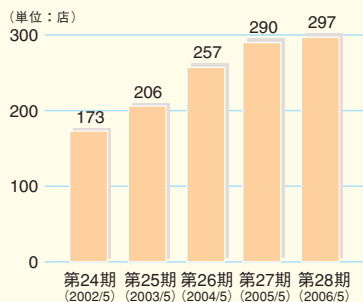
静岡県

焼津店 054-656-1171
 清水店 0543-49-5161
 東静岡店 054-655-3066
 浜松東若林店 053-442-3339
 富士青島店 0545-55-2588
 三島店 055-991-1760
 藤枝店 054-647-6731
 浜北店 053-585-0481
 静岡有明店 054-202-2080
 富士宮店 0544-28-5261
 浜松泉店 053-478-0971
 浜松頭陀寺店 053-411-5281
 袋井店 0538-45-2101
 磐田店 0538-21-1881
 掛川店 0537-62-0555
 沼津店 055-929-6911

愛知県

稲沢店 0587-33-3019
 半田店 0569-25-7380

鳴海店 052-878-7887
 豊橋飯村店 0532-66-3830
 名古屋瑞穂店 052-834-3101
 豊田店 0565-37-7745
 知立店 0566-84-5021
 岡崎店 0564-72-0815
 一宮大宮店 0586-28-8051
 春日井店 0568-86-5046
 千種竹越店 052-719-5177
 蒲郡店 053-366-3115
 水主町店 052-350-4121
 一宮インター店 058-675-0585





上：佐野店
下：館林店



(平成18年7月31日現在)

- | | | |
|---------------------|---------------------|---------------------|
| 碓目寺店 052-462-0671 | 安城店 0566-96-0865 | 桑名店 0594-33-0525 |
| 中川中島店 052-365-0861 | 岡崎大樹寺店 0564-27-1800 | 松阪三雲店 0598-56-9320 |
| 瀬戸店 0561-89-5361 | 名古屋守山店 052-739-2501 | 鈴鹿店 0593-81-2150 |
| 豊川店 0533-80-2891 | 東海店 052-689-0170 | 四日市松原店 0593-61-5746 |
| 名古屋白壁店 052-930-6801 | 久保一色店 0568-42-2761 | 伊勢御園店 0596-20-5871 |
| 豊橋曙店 0532-39-0077 | 木曾川店 0586-84-2055 | 名張店 0595-62-3115 |
| 津島店 0567-22-6933 | 師勝店 0568-26-2275 | 鳥羽店 0599-21-1035 |
| 弥次エ店 052-618-3280 | 新川店 052-408-0326 | |
| 有松店 052-629-5060 | 最中店 052-629-6631 | |
| 小牧店 0568-42-7701 | | |
| 春日井大留店 0568-53-3751 | | |
| 江南店 0587-51-6651 | 四日市日永店 0593-47-6030 | |
| 日進店 0561-74-7671 | 津店 059-213-7075 | |

三重県



最中店

- 大阪大黒田店 0598-25-6011
 津栗真店 059-236-5036
 久居店 059-254-5556

近畿

滋賀県

- 大津尾花川店 077-511-3266
 近江八幡店 0748-31-3404
 長浜店 0749-68-5611
 八日市店 0748-20-0990

京都府

- 伏見店 075-602-1401
 西京極店 075-321-0893
 向日店 075-924-1711
 宇治店 0774-25-6781
 河原町三条店 075-213-8833
 福知山店 0773-25-4151
 亀岡店 0771-29-0180
 八幡店 075-972-2209

大阪府

- 枚方店 072-898-7788
 東大阪店 0729-84-7605
 茨木宇野辺店 072-625-8611
 長吉長原店 06-6701-0391

- 八尾店 0729-92-2081
 堺石津店 072-243-6286
 松原店 0723-38-1501
 四條畷店 072-876-2053
 泉大津店 0725-43-9651
 南津守店 06-6655-3126
 豊中庄内店 06-4867-7737
 生野店 06-6756-7480
 寝屋川店 072-801-7172
 豊中服部店 06-6867-5606
 守口店 06-6916-1044
 岸和田店 0724-29-1202
 堺七草店 072-276-0511
 貝塚店 0724-30-6736
 堺向陵店 072-240-2071
 箕面店 072-720-0085
 寝屋川太秦店 072-811-3373
 東住吉店 06-4302-7110
 泉北店 072-295-5378
 阪南店 0724-70-2805

兵庫県

- 伊丹店 0727-78-3456
 尼崎店 06-4868-4735
 尼崎インター店 06-4961-5731
 明石店 078-920-1614
 神戸須磨店 078-739-7261

倉敷店



- 加古川店 0794-56-9546
 姫路土山店 0792-99-5550
 垂水舞子店 078-787-3988
 赤穂店 0791-46-2888
 神戸菊水町店 078-574-0025

奈良県

- 大和高田店 0745-53-7110
 香芝店 0745-71-8201
 橿原店 0744-21-1885
 奈良法華寺店 0742-30-5858
 王寺店 0745-33-5220

中国

岡山県

- 倉敷店 086-430-4722

山口県

- 阿須須S.C店 0836-66-0131

ご優待のお知らせ

当社では、50株以上ご所有(毎年5月31日現在)の株主様に対し、当社専用の「株主優待御食事券」を発行いたしております。株主様のお近くの「かっぱ寿司」で、当社が全国展開を進める味覚をご賞味いただきまして、ご意見を頂戴できれば幸いです。

また、「株主優待御食事券」は、500円券の2枚綴りとなっております。優待枚数は下記をご参照ください。

50株以上500株未満	500円券 10枚
500株以上1,000株未満	500円券 20枚
1,000株以上	500円券 40枚



営業の概況(連結)

営業の経過および成果

当連結会計年度における我が国経済は、設備投資の増加や基準地価の上昇、有効求人倍率の回復などが順調に伸張するなか、企業業績の回復とともに個人消費も拡大し、景気は堅調に推移いたしました。

外食業界全体におきましては、長期化しております市場規模の縮小のなか、新規出店による店舗数の増加により、既存店売上高については、依然厳しい状況が続いております。

こうした状況下で当社グループは、最重要課題といたしまして既存店売上高の回復と収益力強化を目指し、店舗の総体的なレベルの向上と運営の効率化に努めてまいりました。しかし、現在主要地域における、同業他社との飽和状況に加え、異業態との競合店舗も交えた熾烈な競争のなかで、当社グループの売上は低調に推移いたしました。主な原因といたしまして、近年の高速出店に伴う人材不足と教育環境の不備による店舗オペレーションの標準化の立ち遅れ、さらに店内サービス低下等の現場力の弱体化により、当社グループは苦戦を続けてまいりました。しかし、こうした問題に対処するため、「お客様第一」を合言葉に教育店舗におけるOJTとエデュケーターによる従業員教育に注力し、店舗オペレーションの標準化と接客業務における従業員の意識改革に取り組む、現場力の強化を推進してまいりました。これにより着実にお客様回帰の手応えを実感しております。

また、当社自社工場においては、新たに店舗仕込み食材の製品化を開始し、商品の均一化と店舗の作業時間の短縮が可能となり、運営の効率化に貢献はじめています。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高629億50百万円（前連結会計年度比4.1%減）、経常利益8億36百万円（同55.0%減）となりました。また、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い、減損損失31億67百万円を計上したほか、少数株主からの払い込みに伴う持分変動利益10億円が発生したため、当期純損失16億20百万円（前連結会計年度は当期純利益3億24百万円）となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	(自 平成17年6月1日 至 平成18年5月31日)	(自 平成16年6月1日 至 平成17年5月31日)
売 上 高	62,950	65,620
売 上 原 価	24,891	26,214
売 上 総 利 益	38,059	39,406
販売費及び一般管理費	37,034	37,269
営 業 利 益	1,024	2,137
営 業 外 収 益	274	178
受 取 利 息	60	58
そ の 他	213	120
営 業 外 費 用	461	455
支 払 利 息	202	240
そ の 他	259	214
経 常 利 益	836	1,860
特 別 利 益	1,022	182
前 期 損 益 修 正 益	—	16
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—	165
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	22	—
持 分 変 動 利 益	1,000	—
特 別 損 失	3,319	1,217
固 定 資 産 売 却 損	—	59
固 定 資 産 除 却 損	39	734
賃 借 設 備 解 約 損	3	141
リ ー ス 資 産 処 分 損	—	230
減 損 損 失	3,167	—
役 員 退 職 慰 労 金	101	22
退職給付会計基準変更時差異処理額	—	23
そ の 他	7	5
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△ 1,459	825
法人税、住民税及び事業税	552	740
法 人 税 等 調 整 額	△ 391	△ 239
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 1,620	324

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期 (平成18年5月31日現在)	前 期 (平成17年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	11,956	14,896
現金及び預金	9,920	11,130
売掛金	92	112
たな卸資産	744	913
繰延税金資産	299	131
未収還付法人税等	—	1,299
未収入金	114	204
その他の	789	1,116
貸倒引当金	△ 6	△ 13
固定資産	33,795	36,352
有形固定資産	20,599	24,017
建物及び構築物	23,914	25,360
機械装置及び運搬具	624	711
工具器具及び備品	2,576	2,559
土地	3,705	3,585
建設仮勘定	104	44
減価償却累計額	△10,330	△ 8,244
無形固定資産	271	311
連結調整勘定	28	38
その他の	243	272
投資その他の資産	12,924	12,023
投資有価証券	1,635	507
繰延税金資産	1,181	979
敷金及び差入保証金	8,903	9,176
その他の	1,351	1,533
貸倒引当金	△ 148	△ 173
資産合計	45,751	51,248

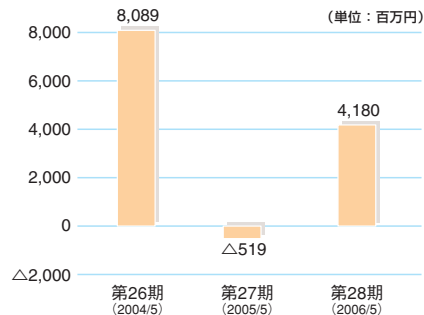
科 目	当 期 (平成18年5月31日現在)	前 期 (平成17年5月31日現在)
負債の部		
流動負債	11,233	12,200
買掛金	2,242	2,524
一年内返済予定長期借入金	5,597	6,050
未払金	612	1,164
未払費用	1,974	2,200
未払法人税等	274	104
未払消費税等	326	62
その他	204	93
固定負債	19,475	21,822
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	8,481	11,180
預り保証金	95	70
退職給付引当金	438	378
その他	458	193
負債合計	30,708	34,022
資本の部		
資本金	—	4,184
資本剰余金	—	3,205
利益剰余金	—	9,911
株式等評価差額金	—	△ 23
自己株式	—	△ 53
資本合計	—	17,225
負債・資本合計	—	51,248
純資産の部		
株主資本	15,034	—
資本金	4,194	—
資本剰余金	3,215	—
利益剰余金	7,678	—
自己株式	△ 53	—
評価・換算差額等	8	—
その他有価証券評価差額金	8	—
純資産合計	15,043	—
負債・純資産合計	45,751	—

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	（自平成17年6月1日 至平成18年5月31日）	（自平成16年6月1日 至平成17年5月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,180	△ 519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,669	△ 4,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,720	△ 1,258
現金及び現金同等物の減少額	△ 1,209	△ 5,931
現金及び現金同等物の期首残高	11,045	16,976
現金及び現金同等物の期末残高	9,835	11,045

営業活動によるキャッシュ・フローの推移



連結株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	4,184	3,205	9,911	△ 53	17,249	△ 23	17,225
当期変動額							
新株の発行	9	9	—	—	19	—	19
剰余金の配当	—	—	△ 590	—	△ 590	—	△ 590
当期純損失（△）	—	—	△ 1,620	—	△ 1,620	—	△ 1,620
その他	—	—	△ 23	—	△ 23	—	△ 23
株主資本以外の項目の当期中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	31	31
当期変動額合計	9	9	△ 2,233	—	△ 2,214	31	△ 2,182
当期末残高	4,194	3,215	7,678	△ 53	15,034	8	15,043

営業の概況(単体)

損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (自平成17年6月1日 至平成18年5月31日)
売 上 高	60,618
売 上 原 価	24,055
売 上 総 利 益	36,563
販売費及び一般管理費	35,847
営 業 利 益	715
営 業 外 収 益	238
営 業 外 費 用	247
経 常 利 益	706
特 別 利 益	16
特 別 損 失	2,369
税 引 前 当 期 純 損 失	1,647
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	535
法 人 税 等 調 整 額	△ 391
当 期 純 損 失	1,791

貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当 期 (平成18年5月31日現在)
資産の部	
流 動 資 産	11,545
固 定 資 産	33,224
有 形 固 定 資 産	20,059
無 形 固 定 資 産	231
投 資 そ の 他 の 資 産	12,933
資 産 合 計	44,769
負債の部	
流 動 負 債	10,179
固 定 負 債	18,388
負 債 合 計	28,568
純資産の部	
株 主 資 本	16,192
資 本 金	4,194
資 本 剰 余 金	3,215
利 益 剰 余 金	8,836
自 己 株 式	△ 53
評 価・換 算 差 額 等	8
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	8
純 資 産 合 計	16,201
負 債・純 資 産 合 計	44,769

株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	4,184	3,205	11,217	△ 53	18,554	△ 23	18,531
当期変動額							
新株の発行	9	9	—	—	19	—	19
剰余金の配当	—	—	△ 590	—	△ 590	—	△ 590
当期純損失(△)	—	—	△ 1,791	—	△ 1,791	—	△ 1,791
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	31	31
当期変動額合計	9	9	△ 2,381	—	△ 2,362	31	△ 2,330
当期末残高	4,194	3,215	8,836	△ 53	16,192	8	16,201

会社概要

(平成18年5月31日現在)

商号 カッパ・クリエイト株式会社
 創業 昭和48年8月
 設立 昭和58年8月29日
 資本金 41億9,437万円
 従業員数 969名
 本社所在地 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地16
 シーノ大宮ノースウイング14階
 Tel 048-650-5100 (代表)

工場等 上尾工場 埼玉県
 関東商品管理センター 埼玉県

事業内容 1. 飲食店の経営
 2. 食料品の加工及び販売
 3. 損害保険代理業
 4. 不動産の売買、賃貸借及びその仲介業

主な取引銀行 (株)みずほ銀行 (株)三菱東京UFJ銀行
 (株)三井住友銀行 (株)千葉銀行

役員 (平成18年8月25日現在)

代表取締役社長 山下 昌三
 常務取締役 徳山 桂一
 取締役 清水 助一郎
 取締役 峯村 誠
 取締役 鳥羽 喜幸
 取締役 宇田 猛
 取締役 渡辺 博直
 取締役 池端 伸穂
 取締役 渡辺 忍
 取締役 正金 一将
 取締役 中井 鉄太郎
 監査役(常勤) 藤沢 清
 監査役 鈴木 勝治
 監査役 渡辺 隆三
 監査役 友竹 敏幸
 監査役 金森 浩之

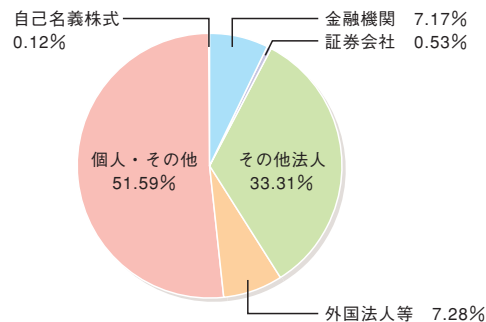
株式の状況 (平成18年5月31日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 16,898,650株
 株主数 59,718名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ジェム・エンタープライズ	5,400,000株	31.95%
徳山 淳和	949,600	5.61
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	745,800	4.41
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	273,000	1.61
荒木 操	200,000	1.18
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	191,800	1.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	186,600	1.10
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	129,050	0.76
エイチエスビーシーバンクビーエルシー クライアंटツノンタックスストリーティ	128,000	0.72
三菱UFJ信託銀行株式会社(信託口)	104,650	0.61

所有者別株式数の状況



株主の皆様へ アンケートにご協力ください

皆様のご意見を伺い今後の経営とIR活動に反映させてまいりたいと存じます。つきましては、下記および裏面のアンケートにご協力をお願い申し上げます。ご回答は該当する項目に○印、または文章をお書きください。ご記入いただいた情報は個人が特定されないよう統計的な扱いに限定して利用します。誠に勝手ながら締め切りを平成18年9月末日とさせていただきます。

■ 株主メモ

事業年度^{*} 毎年6月1日～翌年5月31日
期末配当金受領^{*}
株主確定日 毎年5月31日
中間配当金受領^{*}
株主確定日 毎年11月30日
定時株主総会 毎年8月
株主名簿管理人^{*} 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所 東京証券取引所
公告掲載URL <http://www.kappa-create.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

^{*}平成18年8月開催の定時株主総会の定款変更による用語改訂を反映いたしました。

お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)
0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

-----キリトリ線-----

Q 1. 当社株式の保有期間はどれくらいですか？

1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月～1年未満 3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満 5. 5年以上

Q 2. 当社株式の保有株数を教えてください。

1. 50株未満 2. 50株～500株未満 3. 500株～1000株未満
4. 1000株以上

Q 3. 当社株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答可)

1. 将来性 2. 収益性 3. 経営理念 4. 安定性 5. 事業内容
6. 財務体質 7. 証券会社・情報誌等の推奨 8. アナリストレポート
9. 株価やテクニカル指標 10. 友人に勧められて 11. 株主優待
12. 配当 13. ブランド・知名度

Q 4. 当社店舗での年間ご利用総額（株主優待券利用額も含む）をお聞かせください。

1. 5千円程度 2. 1万円程度 3. 2万円程度 4. 3万円程度
5. 4万円程度 6. 5万円程度 7. 6～10万円程度 8. 10万円以上

Q 5. 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。

1. 買い増し 2. 長期保有（5年以上） 3. 中期保有（2～5年未満）
4. 短期保有（1～2年未満） 5. 売却

Q 6. 株主様として当社に望まれるものは何でしょうか？（複数回答可）

1. 業績の向上 2. 株価の上昇 3. 情報開示の充実
4. 営業エリアの拡大 5. 安定配当 6. 株主優待
7. 株主懇談会の実施 8. 安定的な経営 9. 積極経営

Q 7. 現在の株主優待制度についてのお考えをお聞かせください。

1. 満足 2. 不満

Q 8. Q7で不満とお答えの株主様はどのような点にご不満でしょうか。

1. 近くに利用店舗がない 2. 所有株数に応じてもっと差をつけた方がよい 3. 株主優待自体不要だと思う 4. 店舗利用券ではなく商品等の方がよい 5. 株主優待ではなく配当で報いるべき
6. その他（ ）

Q 9. その他当社へのご意見、ご感想などがございましたらご記入ください。

☆ご協力ありがとうございました☆



カッパ・クリエイト 株式会社

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-16 シーノ大宮 ノースウイング14階
TEL.048-650-5100 (代)

<http://www.kappa-create.co.jp>

キリトリ線

郵便はがき

1 3 7 8 6 8 2

204

料金受取人払



差出有効期限
平成18年10月
31日まで

(切手不要)

(受取人)

新東京郵便局私書箱第29号

カッパ・クリエイト 株式会社

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 行



お住まい	1.北海道 2.東北 3.関東 4.中部 5.近畿 6.中国 7.四国 8.九州 9.外国
ご性別	1.男 2.女
ご年齢	1.10代・20代 2.30代 3.40代 4.50代 5.60代 6.70代以上
ご職業	1.会社員 2.公務員 3.会社役員 4.自営業 5.主婦 6.無職 7.その他
株式投資歴	1.3年未満 2.3~10年未満 3.10~20年未満 4.20年以上

R100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



地球環境に配慮した大豆油
インキを使用しています